

令和7年度 県立総合教育センター 第1回～第24回公開講座

申込方法

- (1) まず、研修実施日（開始日）の1週間前までに、県立総合教育センター企画調査課にお電話ください。(TEL:0795-42-3101)
- (2) 次に、右のメールアドレス (E-mail: k-open@hyogo-c.ed.jp) 宛てに、所属、名前、連絡先、受講を希望する回および演題を記載し、送信してください。
- (3) 当総合教育センターでメールの受信を確認しましたら、受講に関する詳細を後日連絡します。

講座内容

回	内 容
第1回 申込締切日 5/28(水)	<p>【県立総合教育センターでの受講となります。】</p> <p>演 題：強度行動障害が生じる要因の把握と対応 日 時：令和7年6月4日（水）9：50～11：50 講 師：兵庫教育大学大学院 教授 岡村 章司 氏</p> <p>岡村 章司（おかむら しょうじ）氏は、横浜市立特別支援学校教諭を経て、2011年から兵庫教育大学大学院准教授、2018年から教授を務められています。発達障害支援実践コースでは、発達障害臨床心理学、応用行動分析学を研究分野にされ、発達障害、特に自閉症に対する教育的支援や家族支援、学校におけるチーム支援のあり方について研究をされています。2022年には、日本LD学会実践奨励賞を、2023年には兵庫教育大学教職員表彰を受賞されました。</p> <p>今回は、「強度行動障害が生じる要因の把握と対応」と題して、強度行動障害についての基本的な考え方や行動障害を重篤化させないための未然防止的な対応について御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「強度行動障害のある児童生徒への対応講座－卒業後の社会生活を見据えた支援－」の講義を兼ねています。</p>
第2回 申込締切日 6/16(月)	<p>【県立総合教育センターでの受講となります。】</p> <p>演 題：体系的・系統的なキャリア教育の充実に向けて ー学びをつなぐキャリア教育の意義ー 日 時：令和7年6月23日（月）9：50～12：00 講 師：文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 東北福祉大学 教授 長田 徹 氏</p> <p>長田 徹（おさだ とおる）氏は、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官、国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官、同生徒指導・進路指導研究センター客員研究員、東北福祉大学教育学部教育学科教授等を務めておられます。日本におけるキャリア教育の中核的存在として、学習への動機づけや学校・地域・企業が協同で進める体系的・系統的なキャリア教育の推進・充実に向けて、全国各地で講演等を行われています。</p> <p>今回は、「体系的・系統的なキャリア教育の充実に向けてー学びをつなぐキャリア教育の意義ー」と題して、専門的知見と先進事例を基にお話をいただきます。新しい学習指導要領の下で、キャリア教育の在り方について日々試行錯誤されている現場の先生方へ、多くの示唆を与えてくださいます。</p> <p>なお、この公開授業は「(小中) キャリア教育推進講座－体系的・系統的なキャリア教育の充実に向けてー」「(特) キャリア教育推進講座－体系的・系統的なキャリア教育の充実に向けてー」「(高) キャリア教育推進講座－体系的・系統的なキャリア教育の充実に向けてー」の講義を兼ねています。</p>

<p>第3回</p> <p>申込締切日 6/18(水)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：特別支援教育における ICT の活用 日 時：令和7年6月25日(水)～7月9日(水) 講 師：兵庫教育大学 教授 小川 修史 氏</p> <p>小川 修史 (おがわ ひさし) 氏は、特別支援教育と教育工学を御専門にされ、特にコンピュータやタブレット、インターネットなどのテクノロジーをどのように活用すれば知的・発達障害の子どもの教育に寄与できるかを模索されています。また、未来志向のネクストユニバーサルデザイン (NextUD) の研究にも取り組まれ、障害のある方へのデザインのイメージから「ファッション」「デザイン」「教育」をテーマに多くの方がワクワクする魅力的なデザインの提案を行っておられます。</p> <p>今回は、「特別支援教育における ICT の活用」と題して、特別支援教育における ICT 活用の意義と基本的な考え方や ICT 活用による指導の充実と教員の情報活用について御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「特別支援教育における効果的な ICT 活用講座 A (基礎編) - ICT 利活用の意義と基本的な考え方 -」の講義を兼ねています。</p>
<p>第4回</p> <p>申込締切日 7/15(火)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：不登校児童生徒への理解と対応 日 時：令和7年7月22日(火)～8月5日(火) 講 師：兵庫教育大学大学院 教授 遠藤 裕乃 氏</p> <p>遠藤 裕乃 (えんどう ひろの) 氏は、臨床心理学を御専門とされています。著書として「ころんで学ぶ心理療法」「その心理臨床、大丈夫? - 心理臨床実践のポイント -」などを執筆され、若手セラピストの育成に尽力されるとともに、教育相談のスーパーバイザーとしても活躍されています。</p> <p>今回は、「不登校児童生徒への理解と対応」と題して、背後に様々な要因があるとされる不登校を状態像の一つと捉える立場から、システム論的家族療法の視点による教育相談の在り方や、不登校傾向にある児童生徒への対応について御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「不登校傾向のある児童生徒への理解と支援講座 - 多面的な視点からのアプローチ -」の講義を兼ねています。</p>
<p>第5回</p> <p>申込締切日 7/15(火)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：諸課題を主体的に受け止めて解決を図るミドルリーダーをめざして - 自分らしさを発揮するリーダーシップとは - 日 時：令和7年7月22日(火)～8月5日(火) 講 師：立教大学 教授 石川 淳 氏</p> <p>石川 淳 (いしかわ じゅん) 氏は、リーダーシップ論、人的資源管理論、組織行動論が御専門で、シェアド・リーダーシップ研究の第一人者であります。帝国臓器製薬、山梨学院大学商学部勤務を経て、現在は立教大学にて教授、統括副総長として活躍されています。</p> <p>リーダーシップと多様性についての研究を御専門とされ、特に価値観や考え方が異なる人が集まり、相互の違いによるコンフリクトを乗り越え、より創造的な成果を生み出すために何が必要なのかについて研究されています。とりわけ、多様性が高いグループにおいて、メンバーのそれぞれが自分の強みを生かしたリーダーシップを発揮するために必要な事柄を明らかにしようと研究されています。代表的な著書として、『リーダーシップの理論』『シェアド・リーダーシップ』などがあります。</p> <p>今回は、「諸課題を主体的に受け止めて解決を図るミドルリーダーをめざして - 自分らしさを発揮するリーダーシップとは -」と題して、ミドルリーダーの在り方について御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「学校組織活性化における教員の在り方講座 - 課題を発見し解決していくミドルリーダーをめざして -」の講義を兼ねています。</p>

<p>第6回</p> <p>申込締切日 7/16(水)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する授業づくり －課題を見付け、その解決に向けた学習過程－</p> <p>日 時：令和7年7月23日(水)～8月6日(水)</p> <p>講 師：兵庫教育大学大学院 教授 筒井 茂喜 氏</p> <p>筒井 茂喜(つつい しげき)氏は、明石市等の小学校教諭を経て、現在は兵庫教育大学大学院小学校教員養成特別コース教授として活躍されています。御専門は体育科教育学で、体育授業を非言語コミュニケーションによる教育の観点から捉え直し、その理論的枠組みの構築、非言語コミュニケーションに着目した指導が他者の感情・気持ちへの理解に及ぼす影響について研究されています。</p> <p>今回は、「豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する授業づくり－課題を見付け、その解決に向けた学習過程－」と題して、「走・跳の運動」「陸上運動」「陸上競技」領域の指導の在り方を中心に科学的知見に基づいた授業改善について御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「(小中)体育科・保健体育科授業実践講座－「走・跳の運動」・「陸上競技」の授業づくり－」の講義を兼ねています。</p>
<p>第7回</p> <p>申込締切日 7/17(木)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：学校における危機管理と危機対応 －学校事故等の事例から－</p> <p>日 時：令和7年7月24日(木)～8月7日(木)</p> <p>講 師：尼崎駅前法律事務所 弁護士 曾我 智史 氏</p> <p>曾我 智史(そが さとし)氏は、京都大学法学部を卒業後、2006年に弁護士になられ、2014～2016年度に兵庫県弁護士会子どもの権利委員会委員長、2021年度に兵庫県弁護士会副会長、その他県内外の多数のいじめ調査委員会委員を務められました。現在、大阪市のいじめ調査第三者委員会委員長、県内の児童相談所(こども家庭センター)のアドバイザー、播磨東教育事務所、淡路市、多可町、宝塚市、加東市のスクールロイヤー、NPO法人つなご(子どもシェルター)の理事長等を務められており、学校での事故やトラブルへの対応についてアドバイスをされています。</p> <p>今回は、「学校における危機管理と危機対応－学校事故等の事例から－」と題して、学校事故等の事例を基に、学校安全のための危機管理の在り方や学校事故等への適切な対応について御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「学校における危機管理講座－学校事故等への対応を通して－」の講義を兼ねています。</p>
<p>第8回 ①</p> <p>申込締切日 令和8年 2/13(金)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：子どもの成長・発達を支える生徒指導</p> <p>日 時：令和7年7月30日(水)～令和8年2月27日(金)</p> <p>講 師：関西外国語大学 教授 新井 肇 氏</p> <p>新井 肇(あらい はじめ)氏は、生徒指導及びカウンセリング心理学が御専門で、全国の生徒指導や学校教育相談の発展に寄与してこられました。現在、日本生徒指導学会の副会長、文部科学省の児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議委員、いじめ防止対策協議会座長を務められ、生徒指導提要の改訂にあたっては、生徒指導提要の改訂に関する協力者会議の副座長を務められました。</p> <p>今回は、「子どもの成長・発達を支える生徒指導」と題して、「生徒指導提要(改訂版)」における「発達支持的生徒指導」等の生徒指導の構造化の趣旨や、「させる生徒指導」から「支える生徒指導」への転換等、これからの生徒指導の方向性について御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「子どもを育てる生徒指導講座(VOD研修)－学校現場に生かす発達支持的生徒指導－」の講義を兼ねています。</p>

<p>第8回 ②</p> <p>申込締切日 令和8年 2/13(金)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：学校における教育相談の意義と役割 日 時：令和7年7月30日(水)～令和8年2月27日(金) 講 師：神戸親和大学 教授 松本 剛 氏</p> <p>松本 剛(まつもと つよし)氏は、心理学を御専門とされており、特に臨床心理学、教育相談、人間性心理学等に関して様々な実践的な研究を進めておられます。また、ひょうごっ子悩み相談等の兵庫県の相談事業に長く携わられた経歴をお持ちでもあります。著書として『傾聴の心理学』『教育用語ハンドブック』『教師の総合的力量形成』などを執筆されています。</p> <p>今回は、「学校における教育相談の意義と役割」と題して、教育相談の視点を生かした児童生徒や保護者に対する支援について御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「子どもを育てる生徒指導講座(VOD研修)ー学校現場に生かす発達支持的生徒指導ー」の講義を兼ねています。</p>
<p>第8回 ③</p> <p>申込締切日 令和8年 2/13(金)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：心理学の視点を生かした児童生徒理解と学級経営 日 時：令和7年7月30日(水)～令和8年2月27日(金) 講 師：兵庫教育大学大学院 教授 秋光 恵子 氏</p> <p>秋光 恵子(あきみつ けいこ)氏は、教育心理学、学校心理学、社会心理学等を御専門とされており、学級経営や教育相談、校内連携等、特にクラスにおける集団と個との関わりに関する様々な実践的な研究を進めておられます。また、心の教育推進センターの所長を兼務していただき、当センターで開発した各種教育プログラムの作成にも御尽力いただいております。</p> <p>今回は、「心理学の視点を生かした児童生徒理解と学級経営」と題して、児童生徒理解を基盤とした関係づくりや集団づくりの視点などについて御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「子どもを育てる生徒指導講座(VOD研修)ー学校現場に生かす発達支持的生徒指導ー」の講義を兼ねています。</p>
<p>第8回 ④</p> <p>申込締切日 令和8年 2/13(金)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：教室環境のユニバーサルデザイン 日 時：令和7年7月30日(水)～令和8年2月27日(金) 講 師：兵庫教育大学大学院 教授 井澤 信三 氏</p> <p>井澤 信三(いさわ しんぞう)氏は、特別支援教育、臨床心理学、教育心理学等を御専門とされており、自閉スペクトラム症を主とする発達障害児・者とその周囲の人を対象として、応用行動分析学に基づいた行動支援に関する臨床研究を進めておられます。また、心の教育推進センターの主任研究員を兼務していただいております。</p> <p>今回は、「教室環境のユニバーサルデザイン」と題して、児童生徒が安心して過ごせる教室環境やユニバーサルデザインの視点に基づく授業づくりなどについて御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「子どもを育てる生徒指導講座(VOD研修)ー学校現場に生かす発達支持的生徒指導ー」の講義を兼ねています。</p>

<p>第9回</p> <p>申込締切日 7/24(木)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：文化芸術活動の充実をめざす書道教育の在り方 －豊かな心と感性を高める書道教育－</p> <p>日 時：令和7年7月31日(木)～8月14日(木)</p> <p>講 師：奈良教育大学 教授 萱 のり子 氏</p> <p>萱 のり子 (かや のりこ) 氏は現在、奈良教育大学教育学部書道教育専修の教授を務めておられます。書学・芸術学を御専門とされ、書道教育における表現力と鑑賞力の育成に尽力され、「美しい書とは何か」という問いを中心に、書の美的価値や教育的意義について研究を進めておられます。また、書道教育を通じて、児童生徒の自己表現力や感性を育む指導法の開発にも取り組まれています。</p> <p>今回は、「文化芸術活動の充実をめざす書道教育の在り方－豊かな心と感性を高める書道教育－」と題して、書道教育における資質・能力の育成や、生徒一人一人の感性と向き合う授業改善の視点について、豊富な実践と理論を基に御講義いただきます。新しい学習指導要領の下で、日々試行錯誤を繰り返しながら教育活動をされている現場の先生方へ多くの示唆を与えてくださいます。</p> <p>なお、この公開講座は「(高)芸術科(書道)教育講座－文化芸術活動の充実をめざす授業づくり－」の講義を兼ねています。</p>
<p>第10回</p> <p>申込締切日 7/29(火)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：心理学から考えるいじめを生まない学級づくり</p> <p>日 時：令和7年8月5日(火)～8月19日(火)</p> <p>講 師：兵庫教育大学大学院 教授 秋光 恵子 氏</p> <p>秋光 恵子 (あきみつ けいこ) 氏は、教育心理学、学校心理学、社会心理学等を御専門とされており、学級経営や教育相談、校内連携等、特にクラスにおける集団と個との関わりに関する様々な実践的な研究を進めておられます。また、心の教育推進センターの所長を兼務していただいております。当センターで開発した「いじめ未然防止プログラム」の作成にも御尽力いただいております。</p> <p>今回は、「心理学から考えるいじめを生まない学級づくり」と題して、いじめ問題の現状、いじめ未然防止に生かせる教員の働きかけの視点などについて御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「いじめを生まない学級づくり講座－学級集団を意識したいじめ問題への理解と対応－」の講義を兼ねています。</p>
<p>第11回</p> <p>申込締切日 7/30(水)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：特別支援教育の視点を取り入れた音楽指導</p> <p>日 時：令和7年8月6日(水)～8月20日(水)</p> <p>講 師：ヴァイオリニスト、社会教育士 生涯学習開発財団認定ワークショップデザイナー 南條 由起 氏</p> <p>南條 由起 (なんじょう ゆき) 氏は、東京芸術大学、同大学院、英国国立音楽院大学院で学ばれ、プロのヴァイオリニストとして活躍されています。また、「芸術を社会に活かす」をテーマに、他分野とのコラボレーションを積極的に行われ、ワークショップデザイナー、音楽ファシリテーターとして教育研究プログラムにも携わっておられます。音楽ワークショップにおいては「誰もが参加できて誰とでもできるインクルーシブな音楽づくり」の実践に取り組んでおられます。</p> <p>今回は、「特別支援教育の視点を取り入れた音楽指導」と題して、音楽的な見方・考え方を働かせる学習活動や全ての児童生徒が主体的に参加できる音楽の授業づくりについて御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「特別支援教育の視点を取り入れた音楽指導講座－豊かな音楽活動を実現する授業づくり－」の講義を兼ねています。</p>

<p>第12回</p> <p>申込締切日 7/31(木)</p>	<p>【県立総合教育センターでの受講となります。】</p> <p>演 題：高等学校国語科における探究的な学び －自分の考えを広げたり深めたりする授業の在り方－</p> <p>日 時：令和7年8月7日（木）9:50～11:30</p> <p>講 師：安田女子大学 教授 大滝 一登 氏</p> <p>大滝 一登（おおたき かずのり）氏は、岡山県公立高等学校教諭、岡山県教育委員会指導主事を務められ、ノートルダム清心女子大学准教授を経て、文部科学省教育課程課教科調査官、国立教育政策研究所教育課程調査官・学力調査官及び文部科学省初等中等教育局視学官を歴任されました。昨年度から安田女子大学に教授として着任され、教員養成にも関わっておられます。現行の「高等学校学習指導要領（平成30年告示）」国語の作成を担当されたほか、昨年には『高校国語 生徒主体の授業のつくり方』を上梓されるなど、高等学校国語科教育の第一線で活躍されています。</p> <p>今回は、「高等学校国語科における探究的な学び－自分の考えを広げたり深めたりする授業の在り方－」と題して、生徒が主体となって学びを深めていく探究的な授業づくりについて御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「(高)国語科教育講座－思考力や想像力を伸ばす探究的な学びをめざして－」の講義を兼ねています。</p>
<p>第13回</p> <p>申込締切日 8/1(金)</p>	<p>【県立総合教育センターでの受講となります。】</p> <p>演 題：美術教育における文化芸術活動の充実 －豊かな心や文化的な伝統を尊重する心の育成－</p> <p>日 時：令和7年8月8日（金）9:50～11:20</p> <p>講 師：奈良教育大学 准教授 池田 藍子 氏</p> <p>池田 藍子（いけだ あいこ）氏は、文化財造形、文化財における絵画記録保存が御専門で、古代から中世の南都地方を中心とする多色装飾に使用された技法と材料について研究されています。また、古典絵画の模写制作を通して、伝統的な技法・材料への理解及び教育実践を行うことができる人材の育成にも尽力されています。</p> <p>今回は、「美術教育における文化芸術活動の充実－豊かな心や文化的な伝統を尊重する心の育成－」と題して、豊かな心や文化的な伝統を尊重する心の育成をテーマとした授業づくりについて、御教示いただきます。学習指導要領の下、日々試行錯誤を繰り返しながら美術教育に携わられている現場の先生方へ、多くの示唆を与えてくださいます。</p> <p>なお、この公開講座は「(高)芸術科(美術)教育講座－文化芸術活動の充実をめざす授業づくり－」の講義を兼ねています。</p>
<p>第14回</p> <p>申込締切日 8/1(金)</p>	<p>【県立総合教育センターでの受講となります。】</p> <p>演 題：児童生徒の命を守るための予防教育</p> <p>日 時：令和7年8月8日（金）9:50～12:00</p> <p>講 師：関西外国語大学 教授 新井 肇 氏</p> <p>新井 肇（あらい はじめ）氏は、生徒指導及びカウンセリング心理学が御専門で、全国の生徒指導や学校教育相談の発展に寄与してこられました。現在、日本生徒指導学会の副会長、文部科学省の児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議委員、いじめ防止対策協議会座長を務められ、生徒指導提要の改訂にあたっては、生徒指導提要の改定に関する協力者会議の副座長を務められました。また、心の教育推進センターにおける「自殺予防教育の指導モデル開発事業協議会」の委員長を務めていただき、自殺予防教育プログラムの作成に御尽力いただきました。</p> <p>今回は、「児童生徒の命を守るための予防教育」と題して、自殺予防の重要な柱の中でも、「プリベンション（予防活動）」に焦点化し、児童生徒の自殺予防対策の必要性とその方向性、自殺予防教育の具体的展開について御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「児童生徒への自殺予防教育講座－学校で行う早期の問題認識と援助希求的態度の育成－」の講義を兼ねています。</p>

<p>第 15 回</p> <p>申込締切日 8 / 1 (金)</p>	<p>【県立総合教育センターでの受講となります。】</p> <p>演 題：児童生徒の命を守るための危機介入 日 時：令和 7 年 8 月 8 日 (金) 13:00～15:20 講 師：関西外国語大学 教授 新井 肇 氏</p> <p>新井 肇 (あらい はじめ) 氏は、生徒指導及びカウンセリング心理学が御専門で、全国の生徒指導や学校教育相談の発展に寄与してこられました。現在、日本生徒指導学会の副会長、文部科学省の児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議委員、いじめ防止対策協議会座長を務められ、生徒指導提要の改訂にあたっては、生徒指導提要の改定に関する協力者会議の副座長を務められました。また、心の教育推進センターにおける「自殺予防教育の指導モデル開発事業協議会」の委員長を務めていただき、自殺予防教育プログラムの作成に御尽力いただきました。</p> <p>今回は、「児童生徒の命を守るための危機介入」と題して、自殺予防の重要な柱の中でも、「インターベンション (危機介入)」と「ポストベンション (事後対応)」に焦点化し、危機にある児童生徒への支援及び自殺発生時の対応に関する考え方や取組の実際について御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「児童生徒への自殺予防教育講座ー学校で行う早期の問題認識と援助希求的態度の育成ー」の講義を兼ねています。</p>
<p>第 16 回</p> <p>申込締切日 8 / 1 (金)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：実践的・体験的な学習活動における指導と評価の一体化 ー妥当性・信頼性の高い学習評価の方法についてー 日 時：令和 7 年 8 月 8 日 (金) ～ 8 月 22 日 (金) 講 師：元広島大学大学院 教授 鈴木 明子 氏</p> <p>鈴木 明子 (すずき あきこ) 氏は、日本の家庭科教育における授業研究、カリキュラム研究が御専門で、特に日常生活に関わるものづくりや体験の教育的意義について研究をされています。また、家庭科教育の実践的・体験的活動の意義を追究し、学習者の分析、教材の実験的検討、授業の調査研究等を通して学習者の変容を解明し、有効な指導方法に関する研究にも取り組まれています。主な著書として、『コンピテンシー・ベースの家庭科カリキュラム』『アクティブラーニングを活かした家庭科の授業開発「深い学び」に向けて』などがあります。</p> <p>学習指導要領改訂にも 2 期関わられ、中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会家庭、技術・家庭ワーキンググループ委員なども務められました。</p> <p>今回は、「実践的・体験的な学習活動における指導と評価の一体化ー妥当性・信頼性の高い学習評価の方法についてー」と題して、総合的実践的展開を特徴とする応用学問である家政学をベースとした家庭科教育で育む資質・能力について、御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開授業は「(中高) 家庭科教育講座ー実践的・体験的な学習活動の創造ー」の講義を兼ねています。</p>

<p>第17回</p> <p>申込締切日 8/5(火)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：音楽的な見方・考え方を働かせた授業づくり ー生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と関わる資質・能力の育成ー</p> <p>日 時：令和7年8月12日(火)～8月26日(火)</p> <p>講 師：兵庫教育大学大学院 教授 野本 立人 氏</p> <p>野本 立人(のもと たつひと)氏は、兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授として声楽及び合唱を研究される一方、合唱指揮者として多数の合唱団の音楽監督、指揮者を務めるなど、演奏活動においても活躍されています。</p> <p>また、『必ず役立つ学級担任のための合唱の本』『日本の合唱史』(共著)など多数の書籍や論文を執筆されています。</p> <p>今回は、「音楽的な見方・考え方を働かせた授業づくりー生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と関わる資質・能力の育成ー」と題して、音楽的な見方・考え方を養う方法や授業の在り方について御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「(高)芸術科(音楽)教育講座ー主体的・協働的に音楽に関わる態度を養う授業づくりー」の講義を兼ねています。</p>
<p>第18回</p> <p>申込締切日 8/6(水)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：新しい時代に求められる資質・能力を育むための探究的な学習</p> <p>日 時：令和7年8月13日(水)～8月27日(水)</p> <p>講 師：東京大学 教授 佐藤 浩章 氏</p> <p>佐藤 浩章(さとう ひろあき)氏は、高等教育開発が御専門で、1つの授業からカリキュラム、大学組織に至るまで、大学におけるよりよい学びの実現に向けた多彩な見識をお持ちです。令和3年には、『高校教員のための探究学習入門』を上梓され、大学教育改革で培われたノウハウを生かし、高等学校における授業改革にも積極的に携わってこられました。</p> <p>今回は、「新しい時代に求められる資質・能力を育むための探究的な学習」と題して、大きな転換点にある高等学校教育のなかで、探究活動という切り口から生徒の能力の向上を目指す取組やその計画・立案について幅広くお話をいただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「(高)生徒の探究的な学びを実現する授業づくり講座ー課題を発見し解決していくための資質・能力の育成ー」の講義を兼ねています。</p>
<p>第19回</p> <p>申込締切日 8/15(金)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：発達障害のある子どもの自立と社会参加に向けた指導・支援</p> <p>日 時：令和7年8月22日(金)～9月5日(金)</p> <p>講 師：国立特別支援教育総合研究所発達障害教育推進センター 主任研究員 榎本 容子 氏</p> <p>榎本 容子(えのもと ようこ)氏は、国立障害者リハビリテーションセンター、東洋大学で研究員等を経て、2018年から独立行政法人国立特別支援教育総合研究所、2020年から同発達障害教育推進センター主任研究員を務めておられます。就労分野での研究経験・現場経験を生かし、発達障害のある人の「教育から就労への移行」をテーマとした研究に取り組んでおられます。将来の就労を視野に据えつつ、家庭や福祉との連携のもとで、小学校段階から大学段階まで、系統的かつ重層的なキャリア教育が取り組まれるようにするための基礎的研究も行っておられます。</p> <p>今回は、「発達障害のある子どもの自立と社会参加に向けた指導・支援」と題して、発達障害のある子どもの就労に向けた現状と課題や自立と社会参加を見据え、幼児児童生徒のライフサイクルを見通した系統的な支援について御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「発達障害のある子どもの就労支援講座ー自立と社会参加に向けた指導・支援ー」の講義を兼ねています。</p>

<p>第20回</p> <p>申込締切日 8/27(水)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：「問い」を中心に構成する学習の展開 －「問い」を生かした授業づくりの理論と方法－</p> <p>日 時：令和7年9月3日(水)～9月17日(水)</p> <p>講 師：兵庫教育大学 名誉教授 原田 智仁 氏</p> <p>原田 智仁(はらだ ともひと)氏は、愛知県の公立高等学校教諭(世界史担当)として14年間務められた後、兵庫教育大学に転任されました。1997年～2008年の間、文部(文部科学)省の世界史担当教科調査官も務められ、1999年版の学習指導要領の改訂に携わられました。また、社会系教科教育学会及び全国社会科教育学会の会長として、社会科授業研究の推進にも尽力されました。</p> <p>子どもの思考力や判断力を培う指導と評価を研究対象とされており、「主体的・対話的で深い学び」の実現や、世界と日本の歴史を融合する視点と指導計画の作成などについて、多くの書籍を執筆されています。</p> <p>今回は、『問い』を中心に構成する学習の展開－『問い』を生かした授業づくりの理論と方法－と題して、「問い」を設定し、社会的な見方・考え方を働かせてその解決に向けて構想する授業づくりについて御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「(高)地理歴史科・公民科教育講座A－『問い』を中心に構成する授業づくり－」の講義を兼ねています。</p>
<p>第21回</p> <p>申込締切日 8/27(水)</p>	<p>【オンライン (VOD) による受講となります。】</p> <p>演 題：発達障害の可能性のある児童生徒のいじめ問題の理解と対応</p> <p>日 時：令和7年9月3日(水)～9月17日(水)</p> <p>講 師：兵庫教育大学大学院 教授 井澤 信三 氏</p> <p>井澤 信三(いさわ しんぞう)氏は、特別支援教育、臨床心理学、教育心理学等を御専門とされており、自閉スペクトラム症を主とする発達障害児・者とその周囲の人を対象として、応用行動分析学に基づいた行動支援に関する臨床研究を進めておられます。また、心の教育推進センターの主任研究員を兼務していただいています。</p> <p>今回は、「発達障害の可能性のある児童生徒のいじめ問題の理解と対応」と題して、発達障害の可能性のある児童生徒のいじめを未然に防止するための視点や支援のポイントなどについて御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「発達障害の可能性のある児童生徒といじめ問題講座－発達障害の理解と互いに認め合う集団づくり－」の講義を兼ねています。</p>
<p>第22回</p> <p>申込締切日 8/27(水)</p>	<p>【県立総合教育センターでの受講となります。】</p> <p>演 題：国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成に向けた「読むこと」の指導と評価</p> <p>日 時：令和7年9月3日(水) 9:50～12:00</p> <p>講 師：神戸女子大学教育学部 教授 吉川 芳則 氏</p> <p>吉川 芳則(きっかわ よしのり)氏は、国語教育学が御専門で、全国大学国語教育学会、日本国語教育学会等において全国の国語教育の発展に寄与されています。また、本県の兵庫県学力向上実践推進委員会副委員長やひょうごつまずきポイント指導事例集等の作成に係る指導資料検討委員会委員長を務められるなど、教育実践を重視した研究活動を続けておられます。</p> <p>今回は、「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成に向けた『読むこと』の指導と評価」と題して、「読むこと」領域における国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成を実現する指導と評価の在り方、言葉による見方・考え方を働かせる学習過程を重視した授業づくりについてご教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「(小)国語科授業実践講座－「読むこと」の授業づくり－」の講義を兼ねています。</p>

<p>第 23 回 申込締切日 8/27(水)</p>	<p>【県立総合教育センターでの受講となります。】 演 題：インクルーシブ教育システムの推進 日 時：令和 7 年 9 月 3 日（水） 9：50～11：50 講 師：立命館大学 教授 村田 観弥 氏</p> <p>村田 観弥（むらた かんや）氏は、兵庫県公立中学校、兵庫県立高等学校、特別支援学校で勤められた後、独立行政法人国立特殊教育総合研究所長期研修員などを経て、2021 年から立命館大学産業社会学部准教授、2024 年からは教授として教鞭をとっておられます。現在の専門分野は、インクルーシブ教育、障害支援、関係論です。『インクルーシブ教育ハンドブック』（共訳）や『障害理解のリフレクション：行為と言葉が描く〈他者〉と共にある世界』（共著）など、書籍の執筆に数多く携わっておられます。</p> <p>今回は、「インクルーシブ教育システムの推進」と題して、インクルーシブ教育システムの推進に向けた学校・学級づくりと具体的な支援、児童生徒の実態に応じた合理的配慮について御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「インクルーシブ教育システムと合理的配慮の基礎講座－共生社会の形成に向けた子どもの多様なニーズへの対応－」の講義を兼ねています。</p>
<p>第 24 回 申込締切日 8/28(木)</p>	<p>【県立総合教育センターでの受講となります。】 演 題：特別支援教育の視点を取り入れた体育指導 日 時：令和 7 年 9 月 4 日（木） 9：50～11：50 講 師：大阪体育大学 准教授 曾根 裕二 氏</p> <p>曾根 裕二（そね ゆうじ）氏は、2016 年に大阪体育大学教育部講師となられ、2018 年から准教授を務められています。「アダプテッド・スポーツ」、「特別支援教育」を専門分野にされ、重度障害児・者のスポーツ活動やインクルーシブ体育に関する研究や実践に取り組んでおられます。また、パラリンピックの正式競技でもあるボッチャでは代表コーチとして東京パラリンピックに帯同されました。</p> <p>今回は、「特別支援教育の視点を取り入れた体育指導」と題して、障害のある児童生徒等にとってのスポーツの意義と現状や特別支援教育の視点を取り入れた体育の授業づくりについて御教示いただきます。</p> <p>なお、この公開講座は「特別支援教育の視点を取り入れた体育指導講座－障害のある子どもへのスポーツ指導－」の講義を兼ねています。</p>